

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-03-15

# APM news 079

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



長岡市立上組小学校主催

上組小学校によるアートイベント

日 時: 2月9日 (土) pm 1:00~6:00

場 所: 宮内駅~宮内商店街、APM

協 力: 株式会社 高田建築事務所、APM

来館者: 138名 (上組小6年生含む)

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



2013年2月9日、上組小学校6年生によるアートイベントが開催された。6年間通学路として歩いた地域に、アートで感謝を表したいと企画したイベントである。イベントは、版画展、ありがとうアート、きらきらペットボトルツリー、きらきらキャンドルの4つから構成された。

版画展は、「ありがとう 私の大切なもの」というテーマで制作された6年生全員分76点の木版画をAPMの壁に展示した。赤、茶、黄、緑、青、黒の6色の中から自分のイメージに合った色を選び塗り上げる。しっかりと色のついた作品、かすれに味のある作品、それぞれである。題材も、机や文房具、ランドセルといった6年間使用したものが主流だが、中には友人や建物を題材にした生徒もいた。6年生は自分の作品が美術館に展示されるというまたとない機会に、目を輝かせていた。ありがとうアートは、まちの人たちと一緒に作り上げる作品である。55cm×65cm程度の画用紙で作ったハート型の台紙に、5cm四方の紙片を貼り付けていくと、文字が浮かび上がる仕組みである。紙片には浮かび上がる文字の一部の下書きが書かれており、それ以外の余白を好きな絵や柄で埋めていく。紙片は1枚の台紙に対して94枚が必要で、5枚分ともなると470枚という数になる。事前に上組小学校内で紙片に絵を書いてくれるよう協力を呼びかけ、当日は文字部分を中心にした。5枚の台紙には「あ」「り」「か」「と」「う」と感謝のことが浮かび上がった。きらきらペットボトルツリーは、高さ3mの自立する木の柱に、ペットボトルを切り開いて作った花のようなものを飾り付けていくものである。3mの柱からはビニールの紐が伸び、そこにはペットボトルの飾りや、紙で作った飾りなどで装飾が施された。また、ありがとうアートで町の人たちと作成した5枚の台紙は、完成と同時にペットボトルツリーに飾り付けられた。きらきらキャンドルは、真っ白な紙コップに絵を描いてもらい、それをキャンドルホルダーとして使用し、宮内駅からAPM前の雪に埋め、道を明るく照らすというものである。生徒たちは雪の降る中、道行く人々に積極的に参加を呼びかけていた。

このイベントでは、6年生が地域の人々に感謝をあらわし、活気を持たせたいと企画したイベントだったので、6年生自身が積極的に地域の人々に呼びかけ、関わり合うこととなった。一方で地域の人々も6年生が動きやすいように事前に回覧を回し、周知するなどサポートしてきた。閉会の際に6年生の代表者が「感謝をあらわしたいと取り組んだイベントだったが、多くの人々に支えられていたことがわかった」と述べていた。このイベントが今後も継続し、学校と地域が相互に支えあい、協力しあう魅力的なイベントとなるよう、APMも両者と密な関係を築いていく必要があると感じた。(森山奈帆・APM職員) APM公式ホームページより抜粋